

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 受難週 主日礼拝 NO.1165 2021年3月28日

	牧師 山本護	奏楽 山本恵美	第一部礼拝	司式 青柳均	9:30~10:30
	※讚美は二番まで歌います		第二部礼拝	司式 清水由可	11:00~12:00
前	奏 黙想		祈 禱		
頌	栄 539 あめつちこぞりて		讚 美 歌 234A むかし主イエスの		
祈	禱		献 金		
聖	書 申命記 12:13~14		讚 詠 547 いまささぐるそなえものを		
	ヨハネによる福音書 4:23~24		黙 禱		
讚 美 歌	67 よろずのもの		主の祈り 564		
説 教	『申命記の礼拝』		頌 栄 543 主イエスのめぐみよ		
	長崎 哲夫 牧師		祝 禱 後 奏		

申命記の書名は、本文冒頭のヘブル文字「これらの言葉を告げた」から出エヤ民数記のような民の行動の記録ではなく、モーセの遺言とも言われる契約の書である。こうした経緯をもって、後の七十人訳ギリシャ語聖書は申命記を「第二の律法」とした。この場合第一の律法とは出エ 19 のモーセの十戒で、第二の律法はモーセがヨルダン川の東側、スフに近いアラバの荒野のモアブ(1:5)で、「重ねて」語ったモーセと民との契約(29:11)のことだ。

申命記の本文(1:1-30:20)中、1:5-4:43 はホレブ契約締結、4:44-28:68 はホレブ契約の現在の意味、28:69-30:20 ではモアブ契約の将来的展望と区分する仕方がある。付録として、ピスガ山頂におけるモーセの歌(32:1-44)と決別の祝福(33:19-29)、死(34:1-6)、忘備録(34:7-12)がある。また、文中この書に見られる「今日あなた方に命じる一」などモーセのことばが何回あるだろう。これは恐らくモーセが一日で語ったものである (26:16-18)。

聖書の巻末「新約聖書における旧約聖書からの引用箇所一覧表」を見ると、新約の福音書に見るイエス・キリストの言葉は、詩編やイザヤ書及び申命記からのものが多く、例えば申命記 8:3 とマタイ 4:4 等典型的であり、かつてホレブ山で十戒を、今ヨルダン川の向こう、モアブ荒野での契約は、誓約に力点があるが(29:11)、それは全く異なるものではなく未来の世代を含めて多くのイスラエルの子らの参与を強く求めている姿が見える。

申命記について、北イスラエル(サマリア)王ホシェア(BC732-724)にアッシリア王シャルマナサルが攻め上って、サマリアを占領し(列王記下 7:1・BC722)、王と住民を捕囚し、自分の国の宗教を押し付けた。その後、南王国王ヒゼキヤ(同 18)とマナセ(同 21)を経てヨシア王治世下(同 22、BC640-609)神殿修理の際、申命記の一部が発見された(列下 22:8、BC622)と歴代誌下(34:14)にある。ヨシア王はこの律法書を宗教改革の源としたのである。

ヨシア王の最晩年、ユウフラテス川付近のカルケミシュを攻撃したエジプトのファラオ王ネコの軍隊にヨシアが射殺され、ユダとエルサレムの全住民が王の死を悼んだ時、其処に前期予言者エレミヤがヨシアの死を悼み哀歌をつくり、「男女のすべての歌い手がその哀歌によってヨシアを語り伝えた」(歴下 35:25)。此処ではこれ以上それらを詳細には扱わぬが、特記すべきは申命記は実にイスラエルの歴史の深部にまで関与したことである。

申命記の目指す礼拝とは何か。「主がホレブで火の中から語られた日、あなたたちは何の形も見なかった」(4:15)がある。偶像礼拝は、人間の欲望達成のための形、即ち男や女・獣・鳥・動物・魚・天の万象の形を拝すること。ならば主の求め給う礼拝とは何か。高い山・丘の上・茂った木の下にある祭壇・石柱・アシュラ像・彫像を破壊し、「主がその名を置くために全部族の中から選ばれた場所、主の住まいを尋ね、其処へ行くこと」(12:5)ではなかったか。(長崎牧師による説教要旨)

本日の礼拝説教は長崎哲夫牧師にお願いしました。第一部第二部と続けて二回の説教ですが、よろしくお願ひします。山本牧師は関係教会である甲府中央教会(7月には牧師が着任予定)で説教。次主日 4/4 は復活祭礼拝で聖餐式があり、第二部礼拝では洗礼式もおこないます。4/11 は定期教会総会、礼拝後に昼食をはさんで始めます。会員以外の傍聴も可能で、質問や意見表明もできます。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。